

図書館だより④

2017年7月7日発行
那覇市立鏡原中学校図書館

夏休み図書館

開館日

時間：8時半～
11時半

7月…21(金)、25(火)、
26(水)、27(木)、28(金)
8月…2(水)、3(木)
7(月)、8(火)、10(木)、
15(火)、16(水)



あたらしい本

6/30までに登録した本は225冊です。あたらしい本をかりたらちゃんと期限内に返して、次の人にかしてあげてくださいね。

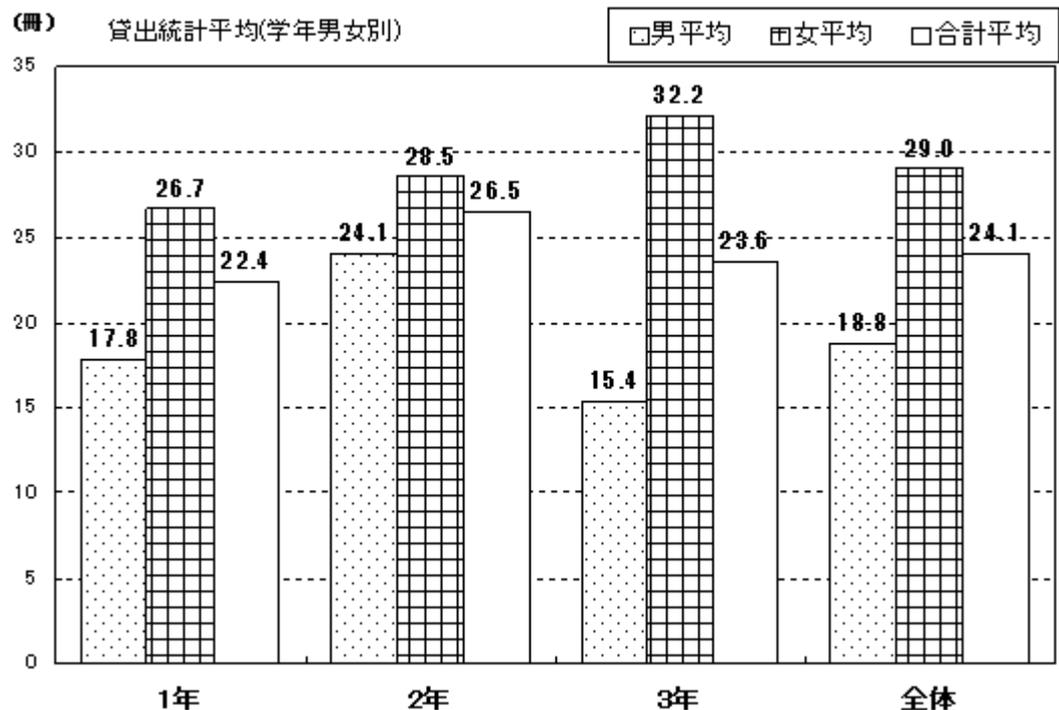
貸出状況 (全学年)

2017/04/01 ~ 2017年6月30日

1. 学年別・男女別 貸出冊数

学年	1年	2年	3年	合計
男	1,780	2,070	1,558	5,408冊
女	2,855	2,854	3,121	8,830冊
学年合計	4,635	4,924	4,679	14,238冊

2. 学年別・男女別・一人平均 貸出冊数



新しい図書館に引っ越し、7月3日から開館しています。まだ整っていない部分がありますが、プレハブ校舎の時よりも広々としていて、勉強に集中しやすいと思います。放課後にもぜひ活用してください。そして、6月24日・25日の引っ越しにご協力くださった保護者の方にお礼申し上げます。ありがとうございました。

今月のオススメ本

課題図書

- ① 『円周率の謎を追う』
- ② 『月はぼくらの宇宙港』
- ③ 『ホイッパーウィル川の伝説』



今年11～12月に行われる予定の第54回全沖縄青少年読書感想文・感想画コンクールの課題図書（感想文）が、上記の3冊となっています。書店では今年度に入って早々と売り出ししていたので、表紙を見たことがある人も多いのではないのでしょうか。生徒が自分で考えた感想をコンクールに出品する本なので、今回は本を読んだの所感を書かずに紹介していきます。

① 江戸の数学者・関孝和のお話です。日本で独自の進化をとげた数学のことを「和算」と言いますが、その和算についての本を読むと、大抵の本に関孝和について書かれているという、和算界の天才です。

鳴海風はほかにも、一般書でたくさんの和算小説を書いています。遠藤寛子『算法少女』や永井義男『算学奇人伝』、沖方丁『天地明察』とあわせて楽しんで読んでほしいジャンルです。

② JAXA で月調査に関わった作者が「かつて小・中学生だった自分が読みたかった本」を書いたという、月についての本です。宇宙に興味がある生徒・5年ほど前に映画にもなった『宇宙兄弟』などを読んでいる人におすすめだなと思いました。

③ この3冊の中でこの本だけが「作者が外国の人」です。最初は英語で書かれたものを日本語に訳しているの、日本人と感覚とは違ったやりとりや、慣習などが出てくるのが海外文学の特徴ですが、そこがまた海外の映画を見ているようで味わい深くおすすめです。感情を揺さぶられる物語を読むのが好きな子に、特におすすめします。



(文責:うえはら)

★ 毎月第3日曜日は「ファミリー読書の日」です。

ご家庭で、親子で、本に親しむ機会を作りましょう。★

7月の読書目標

『夏休みの
読書計画を立てよう。』

